

平成筑豊鉄道観光列車

「ふくのこ」列車」出発進行

3月21日、平成筑豊鉄道の観光列車「ことこと列車」出発式がJR直方駅で行われました。直方駅から行橋駅までを3時間半かけて運行する「ゆつくり・おいしい・楽しい列車」。車窓からの眺めをゆっくり楽しみながら、地産地消にこだわったフレンチのコース料理が提供される観光列車です。多くの鉄道ファンや関係者に見送られながら、平成筑豊鉄道株式会社の河合賢一代表取締役社長の合図で第1便が出発しました。

車両や内装のデザインを手がけたデザイナーの水戸岡鋭治さんは、JR九州の『ななつ星』や『或る列車』の車両デザインにも携わったことで知られています。水戸岡さんは「関係者の協力でどこに出しても恥ずかしくないものができました。嬉しい気持ちです」と挨拶しました。車体は落ち着いた赤。「ことこと」の文字を、漢字やローマ字でデザインしたロゴマークが随所にあしらわれています。内装には組子や寄木など日本の伝統工芸を取り入れ、天井は色鮮やかなステンドグラス。日本一ゆつくり旅する列車で優雅な旅を楽しめそうです。運行日は9月29日までの土・日曜日および祝日で、料金は1万4800円(大人・小人同額)です。(6歳未満は無料ですが、席を利用する場合は有料です)



ことこと列車で上質な旅を体験してみませんか

子どもたちが音楽体験

ユメミルコードモネアカデミー修了証書授与式

次世代の音楽を担う子どもたちのための音楽アカデミーとして、市教育委員会が初めて開講した『ユメミルコードモネアカデミー』。子どもたちに音楽制作活動の機会を提供し、音楽活動を体験することで感性を養い、無限の可能性を引き出すことを目指した事業です。市内の小学4年生・中学2年生までの受講生11人が、1年間のカリキュラムを終え、3月31日に修了証書授与式が開催されました。

ビクターミュージックアーツに所属する音楽プロデューサー堤秀樹さんらの指導で、音楽の基礎を学びながら、作詞・作曲、スタジオでのレコーディングなどを体験した子どもたち。授与式の締めくくりに、全員で作詞作曲したオリジナルソング「ぼくらのユメノネ」を保護者らの前で初披露し、会場は温かい拍手に包まれました。歌詞には夢に向かって歩き続けようという思いが詰まっています。

ピアノとバイオリンを習っているという受講生の星本一樹さん(14)は「音楽に興味があり参加しました。iPadを使つての音楽制作は、普段練習しているクラシックとはまた違った体験ができておもしろかったです」と話しました。このオリジナルソングはインターネット動画配信サイト「YouTube」で配信されています(「ぼくらのユメノネ」で検索してください)。



音楽の楽しさ・無限の可能性を学びました

アジア最大級の展示会

「FOODDEX JAPAN 2019」第44回国際食品・飲料展

市内で生産された高アミロース米「ふくのこ」について、より多くの人に知ってもらい、活用を推進するため、3月5日～8日に幕張メッセ(千葉市)で開催されたFOODDEX(フードデックス)に、直方市農産物ブランド化推進協議会が参加しました。

「ふくのこ」の冷凍炒飯や米粉スナック・米粉を使ったパンケーキミックスや麺の展示、試食を実施。「今までにない食感」「お米の懐かしい味がする」など、多くの来場者から「ふくのこ」の高い健康機能性や加工適性について高評価を得ることができました。

「ふくのこ」はアミロース含有率が高いため、米粉にすると増粘剤なしでパンや麺を作ることができ、小麦アレルギーの対応策としても注目されています。



めざせ「ふくのこ」全国区

全国JOCジュニアオリンピックカップ

春季水泳競技大会出場

3月27日～30日に都内で開かれる全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会への出場が決定した田代悠太さん(直方南小学校3年生)が、3月22日、出場報告に訪れました。

田代さんは同大会「10歳以下の部」に出場。「200メートル個人メドレー」「50メートルバタフライ」「50メートル平泳ぎ」の3種目で、自身初の全国大会に挑みます。5歳から直方スイミングスクール野上に通っていて、毎日2キロメートル以上を泳いでいる田代さん。今年に入り、この3種目でベストタイムを更新しています。

田代さんは「全国の舞台で、また自己ベストを更新したい」と力強く語りました。母の亜紀子さん(41)は「上級生も参加するので上位は難しいかもしれないが、この全国大会がいい経験になればと思います」と言い添えました。



全国の舞台で実力発揮を誓います

師弟で空手の大会に入賞

3月27日、天道会館の西野利也さん(12)と、同館館長の水見涼さん(30)が、空手の大会で入賞し、報告に訪れました。

西野さんは3月10日に田川市で開かれた「第29回全日本総流派空手道選手権大会」において、「形古武道 小学生高学年上級」の部で優勝し、優秀選手賞を獲得。また、3月17日に福岡市で行われた「2019手塚杯世界空手道選手権大会」においても、「型小6」で準優勝、「組手小6男子」で3位に輝き、同大会では水見さんも「型一般」で優勝するダブル入賞を果たしました。

西野さんは入賞当時、直方東小学校の6年生。4歳から空手を始め、週に5日、2時間の練習を積み重ね、これまでも数々の大会に出場し入賞の経験があります。今回の受賞について「優勝は嬉しい。次の大会も優勝したい」と抱負を語りました。水見さんは「西野さんと一緒に受賞できて嬉しい。今後の目標は指導者として弟子に賞を獲らせたいですね」と笑顔で答えました。



ダブル入賞で嬉しさも倍増